

# 税理士法人 KMCパートナーズ

代表社員税理士 所長

## 木村 智行

Tomoyuki Kimura

### Profile

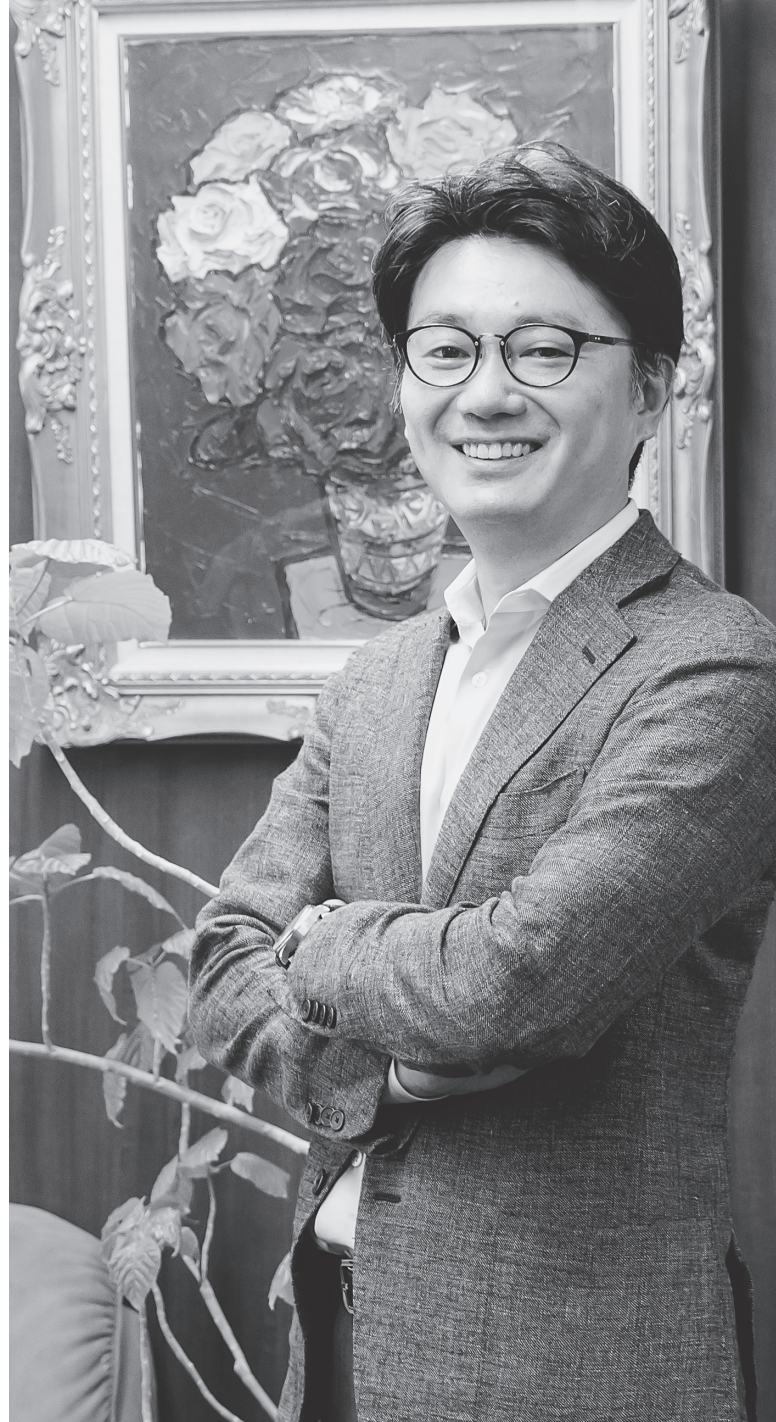
1976年12月22日生まれ。駒場東邦高校、慶應義塾大学商学部卒。創業者である父の会計事務所を継ぐべく、都内の会計事務所での勤務を経て、2006年に木村会計事務所（現在の税理士法人KMCパートナーズ）に入社、2021年1月に代表社員所長に就任。

2010年から青山学院大学院法学研究科ビジネス法務専攻「税務代理の法と実務」の講師を5年間務めた。現在は青山学院大学院会計プロフェッション研究科の客員教授を拝命している。税理士法人の代表に就任後はDX推進により付加価値の高い業務にリソースを注ぎ、代表取締役を務める株式会社KMCコンサルティングにおいても、経営計画支援やM&A支援で大きな実績を上げている。2023年12月に渋谷駅直結の新築の駅ビルに移転を控えており、さらなる成長を目指している。

### Contact

東京都渋谷区桜丘町1番2号  
渋谷サクラステージ セントラルビル14階  
<http://www.kaikeinet.jp/>

More Details



50年以上の実績をベースに、新たなチャレンジへ。  
M & A 支援も強化し、社員の成長と収入アップを実現

## 50年以上の歴史を誇り、「Best Professional Firm」などの受賞歴多数

「50年以上の業歴を経て獲得した専門ノウハウと約600社の顧客からの信頼。それを基盤としてM&A支援やDXなど新たなチャレンジを進め、成長を続けています」

そう語るのは、税理士法人KMCパートナーズ代表社員・所長の木村智行だ。KMCパートナーズは関連会社であるKMCコンサルティングと共に、中堅中小企業の税務・経営計画・相続・事業承継・IPO支援・M&A支援などを総合的に手がけており、顧客の業種は医療・福祉やIT関連をはじめ、不動産、建設、製造、アパレルなど多岐にわたる。

約40名という会社規模としては高い収益性、業務の幅広さ、専門性の高さ、成長率、社員の定着率などが評価され、2019年にはMSJapanが主催する「Best Professional Firm 2019-2020（※）」に選出された。

同法人の創業者は木村の父であり、現在は理事長を務める木村武。1971年に事務所を開業し、東京税理士会の理事、東京地方裁判所の民事調停委員、大学院の客員教授なども歴任。税務訴訟も経験しており、著書執筆や講演実績も豊富な人物だ。

その父から経営を引き継ぎ、木村は2021年1月に代表に就任した。それ以前から残

業削減プロジェクトを立ち上げてデジタルの導入による業務改善を図っており、コロナ禍の中でDX推進を加速させた。

「デジタルツールの活用によって労働時間削減と業務効率化ができた分、付加価値業務に取り組み余裕ができました。経営改善や事業承継分野のコンサルティングなどにも力を入れられるようになり、収益性がアップ。それを社員に還元しているので、給与水準を業界トップクラスまで上げることができています」

そして4年ほど前から取り組みを始めたのが、M&A支援だ。顧問先の社長から「M&Aの話を持ちかけられ、検討している」という相談を受けたのがきっかけだった。

「M&Aによる売却といえば、高齢になった経営者が業績不振や後継者不在などの課題を解消するために行うものというイメージがありました。しかし、その社長はまだ30代で、業績も好調。このようなケースがあるということ、ほかの優良企業にもM&Aの話が来ているのではないかと……と考え、顧客にヒアリングを行ったところ、まさにその実態があることが分かったんです」

そこで、M&A仲介のリーディングカンパニーである日本M&Aセンターと提携し、顧客のM&A支援を開始。事業承継にまつわる問題のほか、成長戦略としての「買収」の検討など、さまざまなニーズを吸い上げ仕組化した結果、立ち上げから4年で9件の成約に

(※)Best Professional Firm / 日本に登録されている会計事務所、税理士事務所、会計系コンサルティングファーム約4,000事務所を対象に「ビジョン」「成長性」「業界貢献度」「人材力」の観点で高い価値を提供し続ける約100のプロフェッショナルな会計ファームを選出・表彰するイベント

渋谷駅直結の駅ビルに移転予定の税理士法人。税務のみならず、財務コンサルや、9割以上の社員が申告書作成経験があるという相続税の分野まで、スペシャリストが多く在籍しています。日本M&Aセンターの最優秀事務所にも選ばれるなど、事務所承継後の成長が著しく、現在業界で注目されているスター事務所。

至っている。日本M&Aセンターからは2022年度の年間最優秀事務所として表彰を受けた。

さらにM&Aで他社の子会社になった場合でも、顧問契約は継続されており、時には買収側の親会社から「うちの税務もKMCに任せたい」と言われることもあるという。

## 社員の「育成」「物心の幸せ」という理念を守り続ける

木村が所長に就任した時、強く決意したのが「理念の継承」だ。父は「職員を育て、物心の幸せを迫及する」という理念を大切にしてきた。M&A支援事業への取り組みは、その理念の実現にもつながっている。

「社員たちが成長しているんです。M&A業務に携わるとなれば、特有の会計処理やデュアリジェンスなどの知識を学ぶ。顧客の事業についてもより深く理解する。従来の税理士業務だけでは得られない新たな知識や経験が身に付くんです。また、社長の想いをじっくり聴くことで関係が深まり、頼られる実感や自信も持つことができます。能力もやりがいも高まり、さらにはコンサルティング報酬として得た収益をボーナスに還元するため、年収も上がるようになります」

50年以上にわたり守られてきた「職員を育て、物心の幸せを迫及する」という理念。木村は次の50年を「第二創業期」ととらえ、より高いレベルでの理念の実現を目指す。

KMCパートナーズは、能力に加えて文化や価値観が合う人だけを厳選採用し、離職率も低いため、少数精鋭で運営してきた。しかし現在は、税務だけでなくコンサルも含めた多岐にわたる新規紹介案件に対応しきれない状況や、今後格差が広がるであろう税理士業界の状況を鑑み、規模拡大へ舵を切っている。

2023年12月には、渋谷駅桜丘口地区にオープンする大規模複合施設「渋谷スクラステージ」にオフィスを移転する。渋谷オフィスでは、現在の約40名体制から70名規模へ組織を拡大する計画だ。さらに、M&Aによる支店展開も視野に入れており、2030年には100名規模のグループ展開を目指す。

「社格を上げる」ことが次の目標ですね。社員が業界内外の友人に『KMCで働いている』と伝えた時、『すごいね、羨ましいな』と言われるようなブランド力のある事務所にしたのです。社員がより誇れる事務所になれるように、新たなチャレンジを続けて成長していきます」